



12月
定例会

白熱した議論を展開!

“空き家対策”条例、 指定管理者の 決定議案を可決

11月28日から始まった12月定例会では「空き家」の適正管理に関する条例や、市内の温泉、産直施設等の指定管理者を決定する議案などが上程されました。

「空き家」に関する条例は豪雪地帯の横手市において、雪下ろしなどの適切な対応をとらず、隣家や道路に被害を及ぼす可能性がある」と判断された場合、市が空き家の所有者に対して、段階的に助言・指導↓勧告↓命令↓(住所・氏名の)公表を行うことができます。

指定管理者決定の議案では、温泉施設の指定管理を中心に白熱した議論が展開されました。指定管理期間は今年の4月1日から3年間ですが、運営が苦しいのにも関わらず公募を実施しない等、見直

しをしないまま現在の管理者を更新しようとす
る市の姿勢に批判が集まりました。市は12月ま

で「指定管理におけるガイドライン」を提示すること、次回の更新時には必ず公募を実施することを示し、議会に理解を求めました。両議案は最終日、12月14日の本

会議において可決(全員賛成(上畑温泉さわらび)の指定管理のみ賛成27・反対1 青山ゆたかは賛成)しました。

「空き家」については条例施行後の実効性、指定管理者については今後の運営等を厳しく監視していきたいと思えます。



23年度一般会計補正予算案を可決 552億600万円に

最終日の12月14日の本会議にて、23年度的一般会計補正予算案5億5千万円を全員賛成で可決しました。累計は552億600万円となりました。主な事業は次の通りです。

●保全センター共通管理費

【1億1千万】
東部環境保全センター煙突改修費と南部・西部環境保全セン

ターの施設整備改修費

【4266万】
横手市森林組合への出資金増資

●地域総合整備資金貸付事業

【1億5千万】
ふるさと融資による(株)アキタ・

●防災力向上事業

【1300万】
市民への防災パンフレット作成経費と災害で孤立する懸念のある集落への衛生携帯電話配備

●元気の出る地域づくり事業

【637万】
十文字地域の水路改修、観光案内版設置と平鹿・大森地域の庁舎利活用など



▲南部環境保全センター

12月定例会の総務文教常任委員会・分科会において青山ゆたかが行った主な質疑は次の通りです。

☆「空き家」条例について、空き家のある敷地も雑草などの問題が発生している。そういったものも対象となるのか？

☆緊急告知FMラジオの配布方法について、(仕様書では)受注業者が「配布を他の業者に委託できる」とあるが、このやり方で市の意向をきっちり伝えきることができるとあるのか？

☆防災パンフレット作成について、市民の方に読んで頂くための工夫は考えているのか？

☆地域づくり協議会について、市HPに議事録が公開されているが、公開ペースが遅い地域がある。公開スケジュールのルールを徹底するべきだ。

☆金沢公園のトイレ建て替えについて、平泉とのつながりや観光客が増える可能性がある。観光的視点にたった設計を考



▲金沢八幡宮

えているか？